

令和元年度第1回東員町総合教育会議 議事録

1 開 会 令和元年5月20日 午前 9時00分

2 閉 会 令和元年5月20日 午前10時00分

3 場 所 東員町総合文化センター 第一研修室

4 出席者	東員町長	水谷 俊郎
	教育長	岡野 譲治
	教育長職務代理者	向山 節雄
	教育委員	松宮 あけみ
	教育委員	三貫納 幸
	教育委員	木村 陽一
	政策課長	岡本 幸宏
	教育委員会事務局長	岩田 浩一
	教育総務課長	伊藤 正樹
	教育総務課長補佐	南部 博輝
	教育総務課主事	虫明 大作
	学校教育課長	日置 貴久
	学校教育課主幹	伊藤 隆康

欠席者	政策課長補佐	小河 信彦
-----	--------	-------

5 会議事項 別紙のとおり

(別紙) 会議事項

1 開会の辞

(岩田事務局長)

ただ今から令和元年度第1回東員町総合教育会議を開会いたします。

2 町長挨拶

町長より挨拶

3 事項

(1) 教育施策(東員町教育施策大綱)について

(岡野教育長)

資料をもとに説明。

(岩田事務局長)

ここままで何か御意見・御質問等はありませんか。

(水谷町長)

教育長の理念のもと教育をしていただいていることを実感している。

教育委員会、先生方もがんばっている、教育委員さんにお礼を申し上げたい。

(委員)

16年一貫教育で気になる点として、三和幼稚園にある子育て支援センターのセンター長と園長を兼ねている、センター長の役割についてはどうか。

(水谷町長)

駅前開発の際に、東員駅前にセンターを持ってきたかったが、宙に浮いた形になっている、できれば子育て支援センターとして独立させたい。

(岡野教育長)

園児増で職員が足りない状態、発達支援室にも2名出向している。待機児童を0を優先しているため、非常に厳しい状態にある。

(水谷町長)

定員管理の問題もあり、民間の力を借りることも検討し、手厚い子育て支援をしていきたい。

(岩田局長)

保育園や幼稚園に通っていない方にも16年一貫教育の理念を伝えていく必要がある。

(委員)

子育て部局と教育委員会部局が連携していかなければならない。

(2) 東員第一中学校移転事業について

(教育総務課長)

資料にもとづき説明

(岩田局長)

直近の人口推計から生徒人口が減っていない、二極構造から一極構造は当分ないと思われる。

(水谷町長)

最近、建設した稲部の学童からさらに増築の要望がある。

三和地区でもミニ開発が進んでおり、中学校の統廃合はないと考えている。

(岩田局長)

移転により中学校が近くなれば、三和地区住宅のいいPRになる。

(3) 不登校児童について

(4) 各校の実情について

(学校教育課 伊藤主幹)

資料にもとづき説明。

(水谷町長)

高学年になるほど理解度のスピード格差の出てくる生徒がたくさんいるとなかなか難しいのではないか。

(伊藤主幹)

学びあいでは差を埋めるように、分からないと言える生徒を育てる。

(委員)

不登校は昔からあり、学力、経済もあるが家庭事情もあると思うが、傾向はどうか。

(伊藤主幹)

傾向について説明。

(4) 働き方改革について

(教育総務課長)

資料をもとに説明

(委員)

教職員の健康管理、時間外の管理をお願いしたい。

(委員)

部活動の指導や出場大会の精選は長年の難しい中学校の問題で強力に進めていかないといけない。

(岡野教育長)

中学校になると家族の会話が、部活動等に占める時間の割合が高い為、子供達の時間が不足している。質の高い教育をめざしつつ、先生方の健康管理もしっかりと進めていかなければならない。

(岩田局長)

他にもいじめや問題が多くあるが町長部局と連携して進めていきます。

4 閉会

(岩田局長)

これを持ちまして、令和元年度第1回東員町総合教育会議を閉会と致します。ありがとうございました。